

# 関金地区版シュタットベルケの構築に向けたエネルギー・買い物支援・生活拠点×交通の共創事業の概要 (関金地区版シュタットベルケ共創プラットフォーム)

## 取組の詳細

### (実証事業の内容)

#### ①外出を促進する予約型乗合タクシーの運行

- 既存の路線バスを見直し、通学時間帯と日中の運行方法を組み合わせた予約型の乗合タクシーを運行する（朝夕の目安時刻ありと日中のオンデマンドのハイブリッド型のDoor to Doorによる運行）
- 運賃は定額制の仕組みとして、外出を促進
- 定額会員に対しては、幹線となる路線バスの割引料金等を検討

#### ③乗合タクシーを活用した高齢者等への買い物支援

- 地域商店では買い物代行サービスを行い、スマホによる受付可能な仕組みを構築する。
- 乗合タクシーの空き時間を活用した宅配を行う

#### ④高齢者等へのIT利活用の推進と支援

- 予約型乗合タクシーや買い物代行サービスは、スマホによる受付も可能な仕組みとする
- 上記を支援するため、高齢者等へのスマホの使い方教室を行いIT利活用を支援する

#### ②行政施設を活用した買い物拠点整備との連携

- 関金支所・総合文化センターは交通結節点として位置付ける
- 関金支所には地域商店を設置し、買物環境を整備

#### ⑤再生可能エネルギーを活用した持続可能な仕組の検討【脱炭素交付金が採択された場合】

- 地域内に水力発電や太陽光パネルを設置し、売電収益を乗合タクシーの運行に充てる仕組みを試行
- 将来的には、売電収益をもとに電力会社から交通事業者等に運行を委託する仕組みを検討し、関金版シュタットベルケを目指す

### (地域関係者との連携・協働)

少子高齢化が進む関金地区では、交通サービスや買い物支援などそれ単体で事業を成立させることには限界がある。このため、本事業では地域内の再生可能エネルギーを活用した電力会社と連携することで、売電収益を地域へ還元し、交通サービスや買い物支援サービスを提供する仕組みの構築を目指している。これには、エネルギーや交通・買い物サービス等の提供主体、さらに地域交流施設・拠点等との連携が必要不可欠であり、こうした各主体との連携により持続可能な地域を目指す。

### (地域課題解決への有効性)

提供する交通サービスを見直すとともに、交通以外の買い物支援やIT利活用の推進なども組み合わせることで、住民の利便性向上と効率的な生活支援サービスの提供を行う。また、これらのサービスを提供する仕組みに再生可能エネルギーの活用を組み込むことで、エネルギーと交通を基軸としたより持続可能な仕組みを目指す。